

高校教育研究委員会2011年度第2回公開研究会

◆ 研究発表 ◇

1. 大多和直樹さん「現代の若者文化と高校教育のあり方を考える」(仮題)

○大多和さんプロフィール 教育学博士、2011年4月より帝京大学教育学科。専門は教育社会学、社会調査。

2. 日永龍彦さん「通信制高等学校の現状と課題」

○日永さんプロフィール 九州大学助手、2007年より山梨大学大学教育研究開発センター教授、大学評価学会理事。専門は教育行政学、学校評価・大学評価論。



最新の教育研究から高校教育の課題を探る高校教育研究委員会の公開研究会。2011年度の第2回研究会は、左のようなテーマで開催します。

今回は、高校教育研究委員会でははじめてとなるお二人の研究者に研究発表をお願いしました。大多和直樹さんは教育社会学の立場から高校教育論、高校生の文化などを研究されてきた若手研究者です。日永龍彦さんは通信制高校の第三者評価制度について調査研究(2010年度文部科学省委託事業)をされていますが、「評価のしくみを考える以前の制度の未整備という行政の不作为を現状にあわせてみ直すことが喫緊の課題」とおっしゃっているように、通信制高校の現状に強い関心をお持ちです。

だれでも参加できる公開研究会です。みなさんのご参加をお待ちしています。



■日時：9月11日(日)
13:30~17:15
■会場：全国教育文化会館
(エデュカス東京)
3F 民研会議室

*第3回公開研究会のお知らせ

10月30日(日) 13:30~17:00 / 全国教育文化会館地下会議室

テーマ：「中教審答申『今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について』の分析」 / 児美川孝一郎さん(法政大学)

問い合わせは 日本高等学校教職員組合(日高教)まで

TEL03(3230)0284 nikkokyo@nikkokyo.zenkyo.org